

日本ニューマチック工業

コンクリート小割圧砕具

適用範囲		型 式		G210EH
		質 量 kg		2,100
		取付可能機体質量（単位t）		
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
油圧装置	開閉シリンダー （図1-1参照）	開閉シリンダーの伸縮量		
		許容限度量	mm	50
		測定時間	分	5
圧砕・切断部	カッター	カッターのすき間 （ 図2-1参照 ）		
		基準すき間	mm	0.5～1.0
		許容限度すき間	mm	2.0
		摩耗限度 （ 図2-2参照 ）	R	5
	圧砕ポイント	圧砕ポイントの摩耗		
		基準寸法	mm	図3-1参照
		許容限度寸法	mm	基準値の50%

1. 開閉シリンダ伸縮量の測定

注意:測定は平坦な場所で、油温 55℃以下で行うこと。

- ① エンジンを始動させ、アタッチメントのフレームの先端ティース部が鉛直(図 1-1 参照)になるように、アタッチメントの姿勢を調整する。
- ② アタッチメントのアームを最大開口まで開く。
- ③ エンジンを停止させ、ストップバルブを閉める。
(このとき、油圧ショベルアームに接続されたホースを取り外し、キャップを取り付けておくことが望ましい。)
- ④ この状態で 5 分間放置してから、開閉シリンダの伸縮量を測定する。

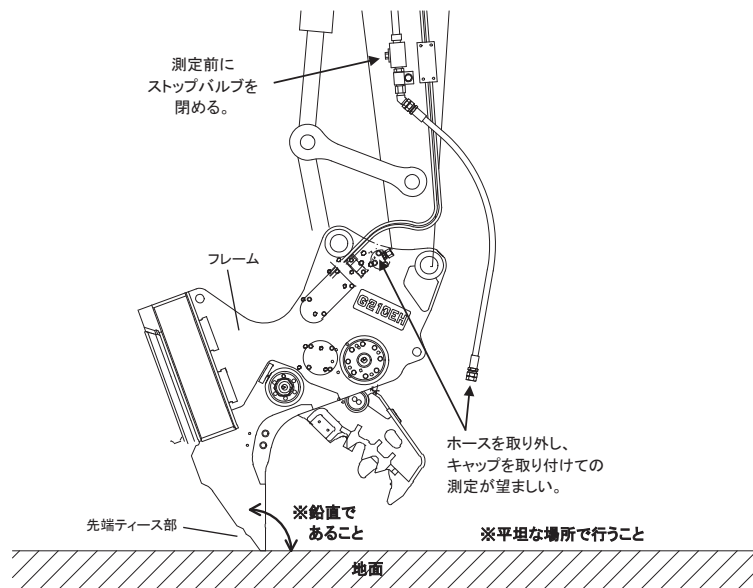


図 1-1: 測定姿勢

2. カッタすき間およびカッタ摩耗限度の測定

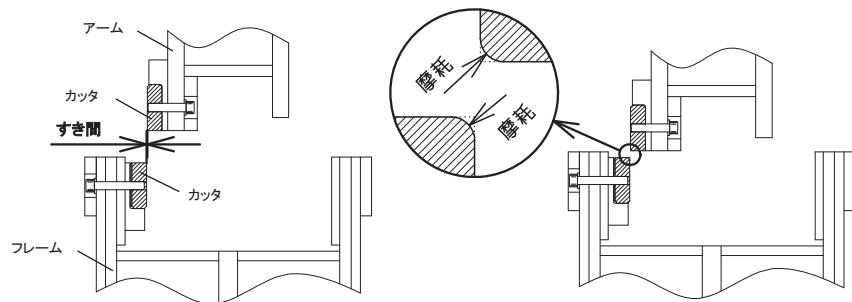


図 2-1: カッタすき間の測定箇所（断面図）

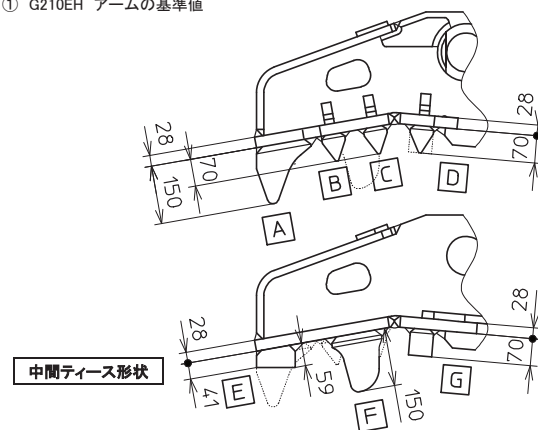
図 2-2: カッタ摩耗限度の測定箇所（断面図）

3. 基準値

(1) 型式: G210EH

下図 A~H の寸法を測定する。 ※単位: mm

① G210EH アームの基準値



② G210EH フレームの基準値

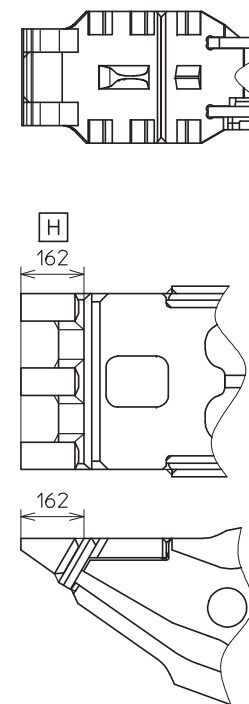


図 3-1: G210EH 圧砕ポイント基準値